

熊本県車いす陸上競技連盟夏季合宿報告

平成 30 年度熊本県車いす陸上競技連盟の夏季合宿を 7 月 8 日・9 日に行いました。当日は、大分県や福岡県からの参加もあり総勢 29 名になり、小さな大会さながらの合宿となりました。また、年齢も 11 歳～63 歳と幅広い参加となり、和気あいあいと走る練習があったり、ヒルトレーニングや長い距離のハードな練習もあったりという合宿になりました。一日目が終わった夕食では、カラオケ、ジャンケン大会等で懇親も深まりました。

南国の熊本とは言え、阿蘇は海拔 500m を超えており、さらに厚い雲のおかげで日が陰ることもしばしばあり吹き抜ける風が涼しく、快適で充実した合宿となりました。

おかげさまで「来年も参加したい。」との声が飛び出すくらい、楽しい合宿になりました。県外の皆様も親睦を含めた一つの練習、行事に加えて頂けたら幸いです。



熊本日日
新聞掲載
2018.7.22

レベルアップするぞ
阿蘇市車いす陸連が合宿
県車いす陸上競技連盟の恒例の夏合宿が 21 日、阿蘇市で始まり、県外を含む選手たちがレベルアップに汗を流した。22 日まで。小学 4 年～60 代の男女 20 人が参加し、阿蘇市の宮町などの農道で短距離と長距離のグループ別に練習。坂道



阿蘇五岳や外輪山を背に練習に励む車いす陸上の選手たち＝阿蘇市

100 以上で東京パラリンピック出場を目指す熊本市北区の清田慎也さん(24)は、「苦手なスタートがうまくならないよう頑張りたい」と意気込んだ。連盟の登録者は約 30 人で、若い人も増えているという。岩下啓三会長(42)＝益城町＝は「県内では公道を使う大会が少なく、安全に走られる場所も限られる。競技に対する社会の関心が高まってほしい」と話した。
(岡本幸浩)

